

対セルビア共和国 国別開発協力方針

2019年9月

1. 当該国への開発協力のねらい

セルビアの経済成長率は欧州債務危機以前のレベルまで回復し、現在は緩やかな成長を見せている。実質 GDP 成長率は 2016 年が 3.3%、2017 年が 2.0%、2018 年が 4%とプラス成長を維持している。国際通貨基金（IMF）からの支援を受け支出削減の努力を続けた結果、2017 年に単年度で財政黒字化を達成し、現在 IMF からは金融支援を含まない政策協議の形での協力を受けている。また、セルビアは、2025 年の EU 加盟を最大の目標としており、2012 年に EU 加盟候補国に認定され、2014 年 1 月に加盟交渉が開始された。特に、EU 加盟に向けてセルビア政府が毎年策定する「経済改革プログラム」では近年、産業の競争力強化及びエネルギー効率化が優先改革分野の一つとして掲げられており、民間セクターでは中小企業を含む民間企業のビジネス環境整備や雇用の創出、国営企業の民営化等による経済の活性化、環境分野では EU が定める基準を満たす環境対策の推進等が重要な課題となっている。

2018 年 1 月に安倍総理がセルビアを訪問し同国の EU 加盟プロセスに対する支援を目的とした「西バルカン協カイニシアティブ」を提唱したが、このことは、これまでの我が国の支援に対する同国国民の高い評価と親日感情等を背景とする我が国と同国との伝統的な友好関係を一層強化することにつながっている。

今後も引き続き我が国がセルビアの EU 加盟プロセスを支援していくことは、西バルカン地域の安定を通じ、欧州全体の安定化に資するものであり、日本企業の進出の促進にもつながるなど、我が国にとっても重要である。

2. 我が国の ODA の基本方針（大目標）：質の高い経済成長の促進支援

民間セクター開発や環境保全といった我が国の優れた知見や技術も活用できる分野を中心に、セルビアの持続可能な経済成長及び同国の EU 加盟に向けた取組を支援する。また、周辺諸国と共通する課題については、地域協力による取組を支援する。

3. 重点分野（中目標）

（1）民間セクター開発

セルビアの経済成長のためには民間セクターの開発が重要な課題となっている。我が国としては、中小企業振興や観光振興等の分野において、我が国の有す

る経験・知見も活用した支援を行っていく。

(2) 環境保全

同国は、経済成長の一方で環境対策に遅れをとっており、EU加盟に向けて、環境分野でEUが定める様々な基準を達成するための更なる取組が喫緊の課題となっている。我が国の有する技術と知見も活用した、大気・水質汚染対策や廃棄物管理、再生可能エネルギー、省エネ等の分野において支援を行っていく。

(3) 経済社会サービスの向上

同国による都市部と地方部との間等の経済社会サービスの格差是正に向けた取組を支援する。具体的には、保健医療及び教育分野を中心に、女性・児童を含む社会的弱者にも直接裨益する支援を行っていく。

4. 留意事項

支援の実施に際しては、過去の紛争の経緯から民族間の関係性に配慮する必要がある。

同国経済はEU経済への依存度が高いため、EU経済の動向が同国に及ぼす影響に留意する必要がある。また、EUにおけるEU拡大の議論の方向性にも留意する必要がある。

(了)

別紙：事業展開計画